

ビタナルの内容

食用微生物、酵素、糖質、ビタミン、ミネラル、アミノ酸、有機酸などすべてを活性態で含有し、野生及び栽培の野菜、果実、穀類、海藻等、50余種類の植物が主原料です。

化学薬品を使用せず、これらを独自の方法で発酵させ、3～5年じっくり醸成させて仕上げた植物の活性エキスです。

ビタナルの基本的な使い方

10アール当たり30ccの原液を
3000倍～20,000倍に水で薄めてお使いください。

●種・苗・挿木を1000倍液につける

豆類	10～20秒
葉菜類	2～3時間
花・果菜類	12時間
米の種籾	24時間
根・挿木	1分～12時間
球根類・種いも	1分～30分

●葉面散布の場合

育苗期・生育の初期	3000倍～
生育の中～後期	10000倍

●灌水は10アール当たり原液を30cc～50ccを薄めてお使いください。

※植物の生育が促進されますので、特に鉢物やプランター等での栽培は水と肥料を充分にあたえてください。

種子の浸漬に

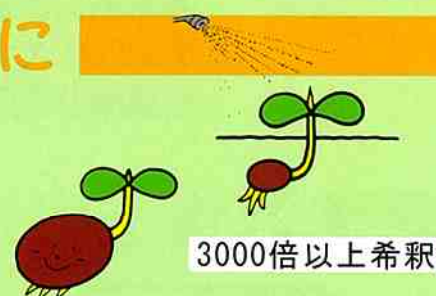
発芽促進



1000倍希釈

育苗期に

健苗育成



3000倍以上希釈

苗の浸漬に

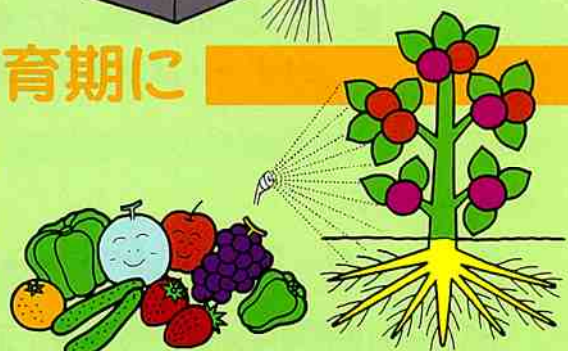
活着促進



3000倍希釈

生育期に

生育促進
品質向上
収量増加



3000～10000倍以上希釈



効 能

- 高温・干ばつ・日照不足・低温等栽培環境のストレスを軽減します。
- 細胞の老化を防ぎ、いつも生き生きとした生育相を保ち続けます。
- 光合成の増大と生育エネルギーの供給を活発にし、高品質・良食味・収量増の条件を作ります。
- 体内溶液濃度を高く保ち、生育生命力を最大限に発揮します。

一般的な散布の仕方

- ビタナールを散布する基準は10アール当り原液30ccを水3000～10000倍にうすめて散布、生育初期や花が咲いているときは、3000倍以上にうすめて散布してください。
- ビタナールは、葉の表面に霧が付着する程度に散布してください。さらに、葉のウラ面まで散布すると効果が上がります。
- ビタナールは、生育の時期がいつであっても初めて使用する場合は、最初の3回位は2～3日間隔で連続散布をしてください。より効果的です。それ以後は、作物の生育状態を見ながら7日、10日、15日などの間隔で自由に散布してください。
- ビタナールは、硫黄石灰合剤などアルカリ剤とは混用しないでください。基本的には液体肥料、農薬などと混用できますが他剤混用の場合は小規模でチェックしてから使用してください。
※農薬と混用した液はその日のうちに使い切ってください。

取扱上の注意

保管について

- 活性態ですから、日光の直射と高温になる場所は避けるようにし、それ以外でしたらどこに保管されても差支えありません。

使用に際して

- ご使用の際には、容器をよく振ってからお使いください。夏季は3～4日で希釈液にカビが発生することがあります。布などでこしてご使用ください。
- 空になった容器は水が澄むまでよく洗い、その水も使用できます。匂いのある限りビタナールは効果を発揮します。 ※食べ物ではありません。